

高萩市公共施設個別施設計画

令和2年3月 策 定

(令和5年5月 一部改訂)

高萩市

高萩市公共施設個別施設計画

目次

第1章 公共施設個別施設計画の位置付け等	
1. 公共施設個別施設計画の背景と目的	1
2. 計画の位置付け	1
3. 対象施設	2
4. 計画期間	2
第2章 公共施設の老朽化状況と施設保全の基本的な考え方	
1. 公共施設の老朽化状況	3
2. 長寿命化の判断	5
3. 修繕・改修サイクルの見直し	7
4. 施設の整備水準	8
第3章 施設類型ごとの個別施設計画	
1. 公共施設等管理計画の基本方針	
(1) 公共施設等管理計画の基本方針	9
(2) 施設類型別の方向性	10
2. 個別施設計画	
■ 公共施設	
(1) 高萩市役所	12
(2) その他文化・教育施設	13
(3) 体育施設	15
(4) 図書館	16
(5) 福祉施設	17
(6) 市営住宅	18
(7) コミュニティ施設	25
(8) 学校施設	32
(9) 保育所・幼稚園	36
(10) 環境衛生施設	37
(11) 消防施設	39
(12) 閉校・廃止施設	42
■ インフラ施設	
(1) 道路	44
(2) 橋りょう	45
(3) 公園	48
(4) 上水道	49
(5) 工業用水道	51
(6) 下水道	52

第4章 計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用 ----- 53
2. 推進体制等の整備 ----- 54
3. フォローアップ ----- 54

【策定・改訂等履歴】

策定・改訂年月	内容等
令和2年3月	高萩市公共施設個別施設計画 策定
令和5年5月	高萩市公共施設等管理計画改訂版の改訂に伴い、管理計画から抜粋していた基本方針（P9）を差替

第1章

公共施設個別施設計画の位置付け等

第1章 公共施設個別施設計画の位置付け等

1. 公共施設個別施設計画の背景と目的

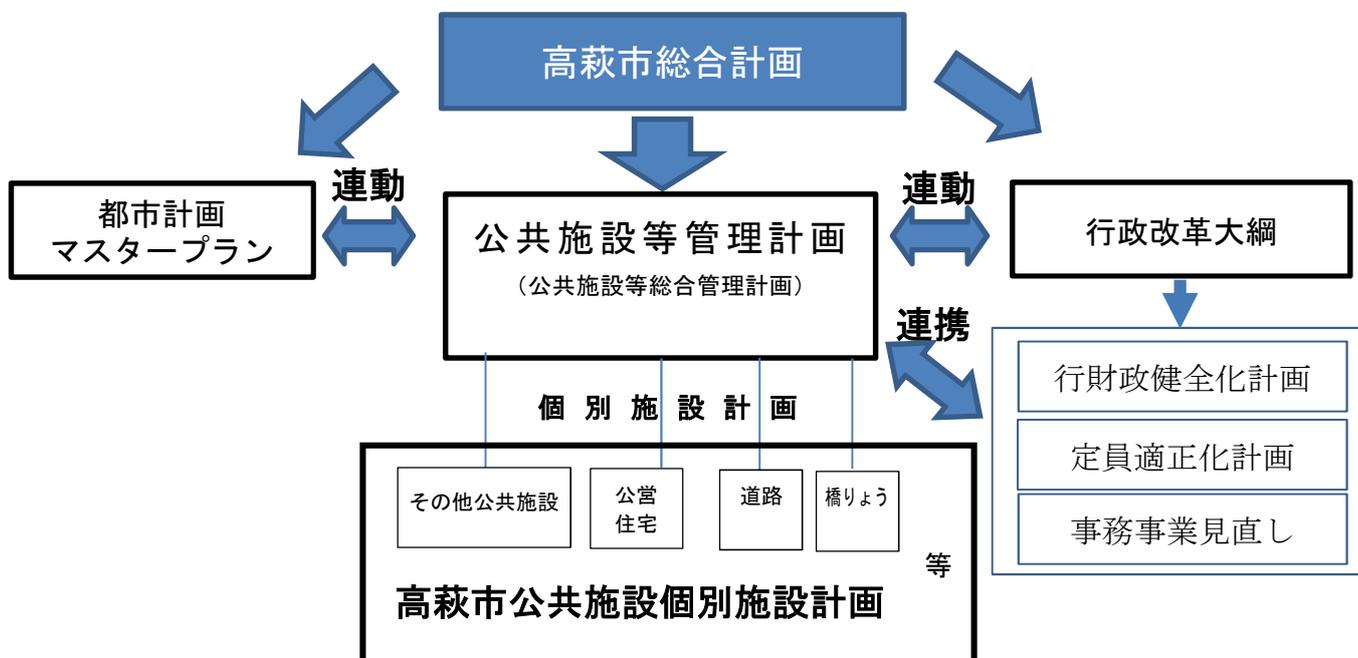
「高萩市公共施設個別施設計画（以下「個別計画」）」とは、「高萩市公共施設等管理計画 改訂版（以下「管理計画 改訂版」）」でとりまとめた基本的な考え方や改善の方向性を踏まえ、建築物の長寿命化や修繕・更新時期の分散、財政負担の平準化を考慮した公共施設の修繕・更新の実施計画です。

「管理計画 改訂版」策定にあたって整理した劣化状況やそれに基づく長期の整備費用、将来を見据えた段階的な再編の方向性を踏まえ、今後5年間の修繕・更新計画を策定するとともに、今後40年の長期の方向性を定めます。

2. 計画の位置付け

個別計画は、本市の上位計画である「高萩市総合計画」及び「管理計画改訂版」に基づき、各施策分野の中の施設面の取組みに関して、具体的な行動計画として提示するものです。

なお、「行政改革大綱」「都市計画マスタープラン」といった関連する各計画や財政運営との連動・調整を図りながら、公共施設等の総合的な再編・維持管理を行うものとします。



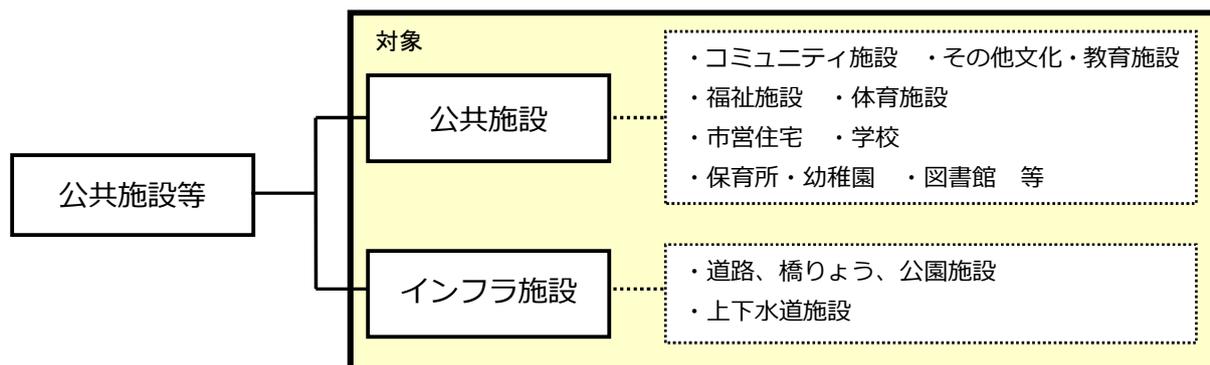
3. 対象施設

本市が保有する公共施設を対象とします（保有基準：令和元年度末）。

公共施設は、コミュニティ施設、その他文化・教育施設、福祉施設、体育施設、市営住宅、学校、保育所・幼稚園、図書館の分野を対象とします。

インフラ施設は、分野（道路、橋りょう、公園、上水道、下水道、工業水道施設）ごとに、個別施設計画を別途策定しており、本計画では抜粋版を掲載して市の保有する財産に関する個別施設計画一式としてとりまとめています。

《対象施設の構成イメージ》



4. 計画期間

本計画は、管理計画改定版を受けて策定するものであるため、令和2（2020）年度から令和41（2059）年度までの40年間を計画期間とします。

また、令和2年度から令和6（2024）年度までの5年間について、個別施設ごとのアクションプラン（個別施設計画）を示します。

なお、計画のローリングについては、管理計画改定版と同様、10年間の期ごとの見直しのほか、最初の5年間が経過した時点で実行計画の進捗状況等を検証して見直し、次期の実行計画に反映します。加えて、歳入減や扶助費等の増加など、財政試算の前提条件に変更が生じた場合にも適宜見直しを行うこととします。

第2章

公共施設の老朽化状況と施設保全の基本的な考え方

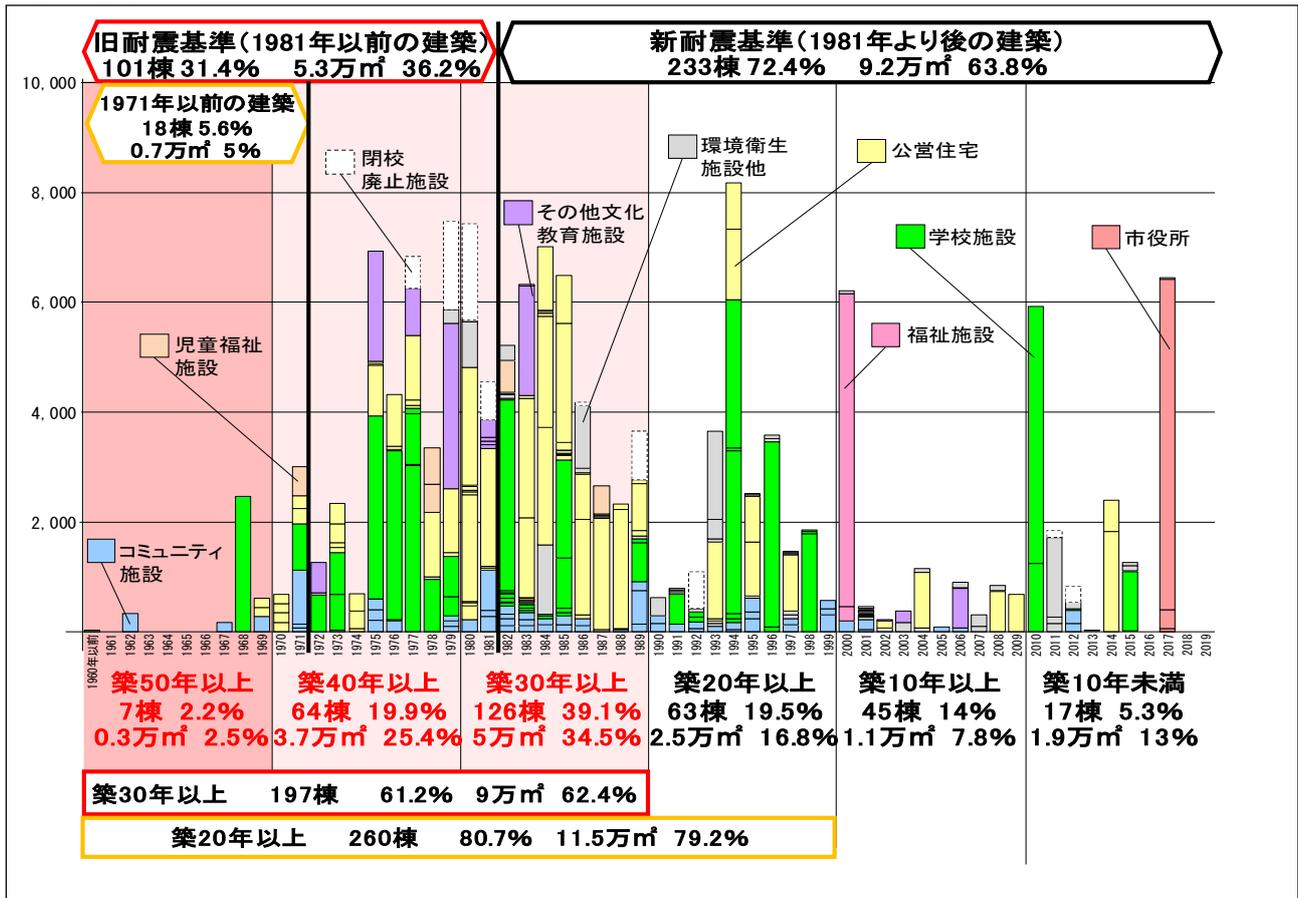
第2章 公共施設の老朽化状況と施設保全の基本的な考え方

1. 公共施設の老朽化状況（「管理計画 改訂版」より抜粋）

（1）築年別整備の状況

新耐震基準の建物が全体の約64%と、比較的新しい施設が多いですが、築30年以上の施設が約62%と老朽化が着実に進行しています。保有量の多い学校、市営住宅は、公共施設の中でも特に老朽化が進行している状況と言えます。

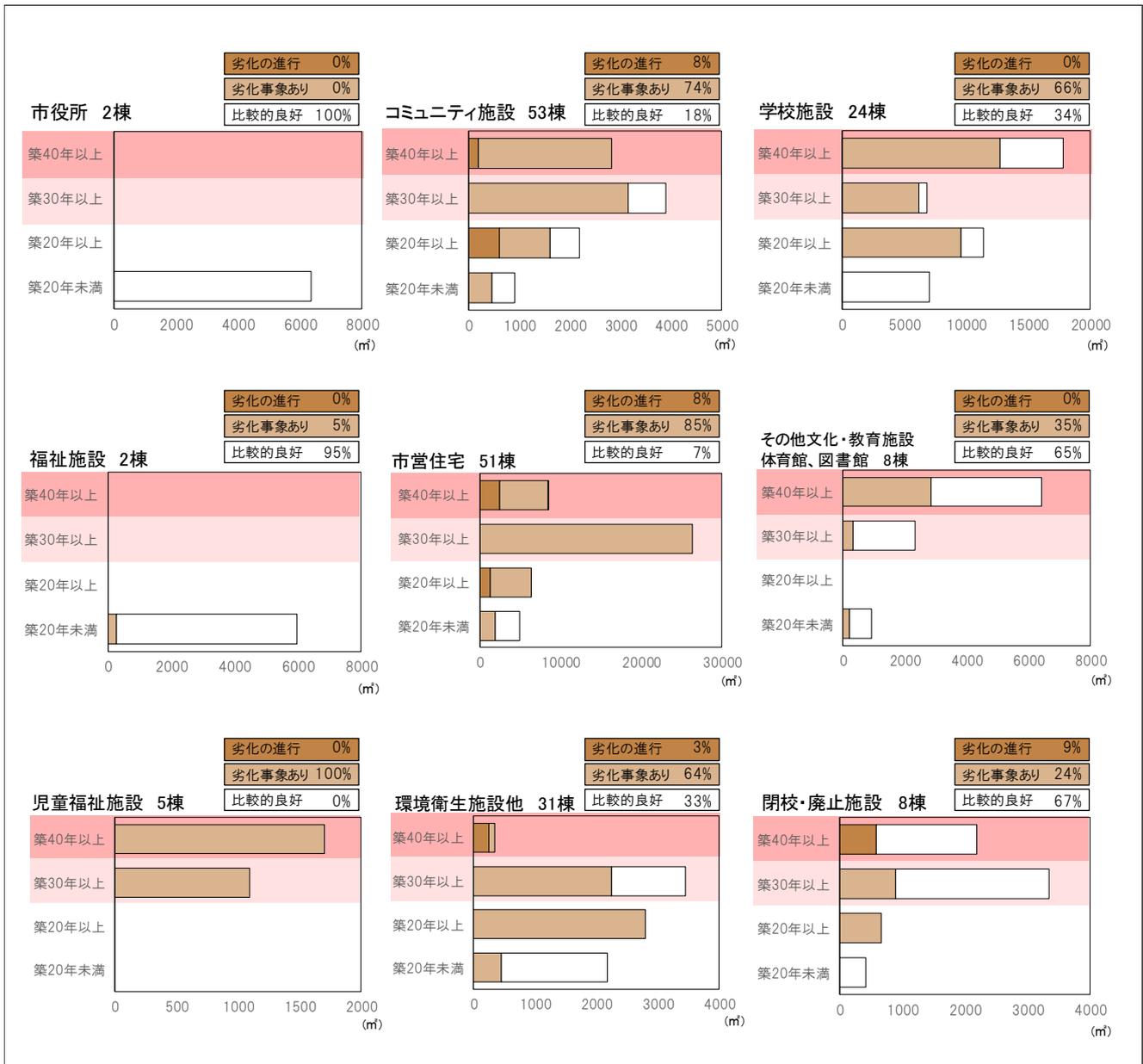
図表 築年別整備状況



築30年以上の主な用途			築30年未満の主な用途		
用途名	延床面積	面積比	用途名	延床面積	面積比
市営住宅	36,318㎡	40.1%	学校施設	19,002㎡	34.9%
学校施設	25,565㎡	28.3%	市営住宅	11,384㎡	20.9%
その他文化・教育施設、 体育館、図書館	8,992㎡	9.9%	市役所	6,419㎡	11.8%
コミュニティ施設	6,870㎡	7.6%	環境衛生施設他	6,383㎡	11.7%
閉校・廃止施設	5,602㎡	6.2%	福祉施設	5,972㎡	11.0%
環境衛生施設他	4,282㎡	4.7%	コミュニティ施設	3,234㎡	5.9%
児童福祉施設	2,891㎡	3.2%	閉校・廃止施設	1,106㎡	2.0%
			その他文化・教育施設、 体育館、図書館	986㎡	1.8%

(2) 用途別の劣化状況

全体的には、築20年以上で劣化が顕在化し、築年が高くなるほど、劣化が進行しています。用途別では、コミュニティ施設、福祉施設、市営住宅、環境衛生施設は、築20年未満の建物でも劣化が顕在化しています。また、コミュニティ施設、学校、その他文化・教育施設、体育館、図書館、環境衛生施設他、閉校・廃止施設は、築30年以上の建物で良好なものがあり、改修が行われていることがわかります。児童福祉施設は、築30年以上の建物しかありませんが、劣化がみられる状況です。



凡例

劣化の進行	全体的にC及びD評価が見られ、劣化が進行している
劣化事象あり	C評価の部位があり、劣化し始めている
比較的良好	A及びB評価(問題のない建物)

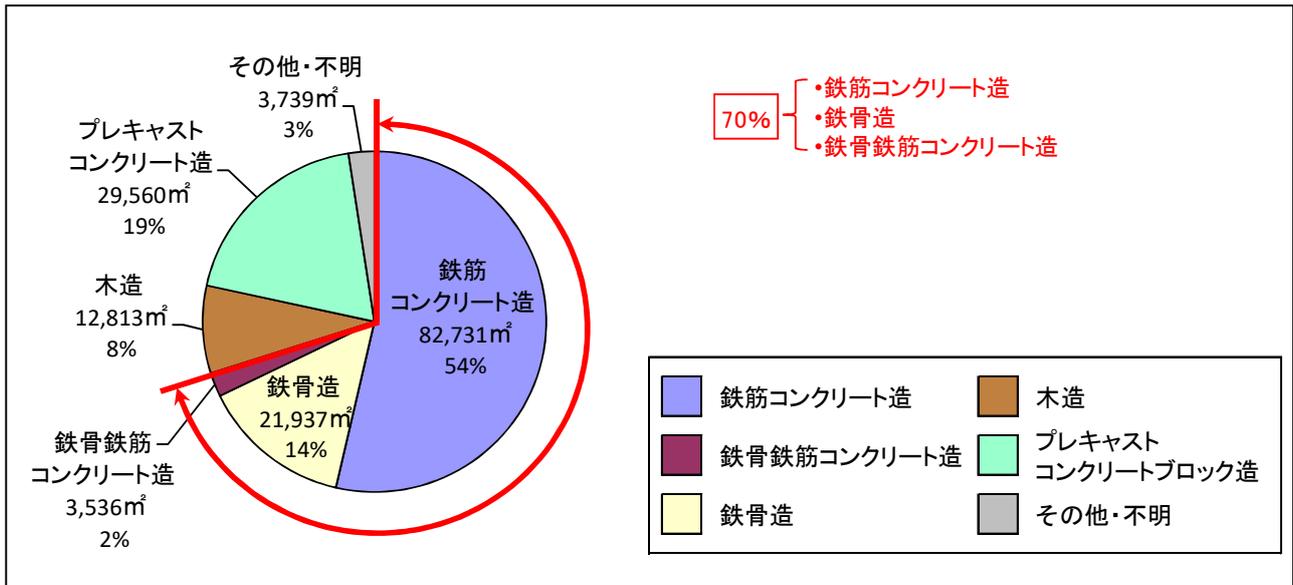
2. 長寿命化の判断

(1) 構造別の保有状況

市全体で構造別床面積をみた場合、鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造で70%を占めており、木造が8%、プレキャストコンクリート造が19%となっています。

学校や比較的面積の大きい施設は鉄筋コンクリート造や鉄骨鉄筋コンクリート造となっており、学校等の体育館は鉄骨造となっています。また、プレキャストコンクリート造は市営住宅で多く採用されています。

構造別床面積



(2) 構造躯体の健全性評価

構造躯体の健全性は、耐震診断時のデータよりコンクリート圧縮強度を評価することで、躯体としての長寿命化の可否を判断します。

耐震診断時のデータによりコンクリートの圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下となった建物は長寿命化に向かない可能性があります。

調査の結果、圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下の建物はありませんでしたが、データの無い建物もあるため、長寿命化の判断の際には調査が必要となります。

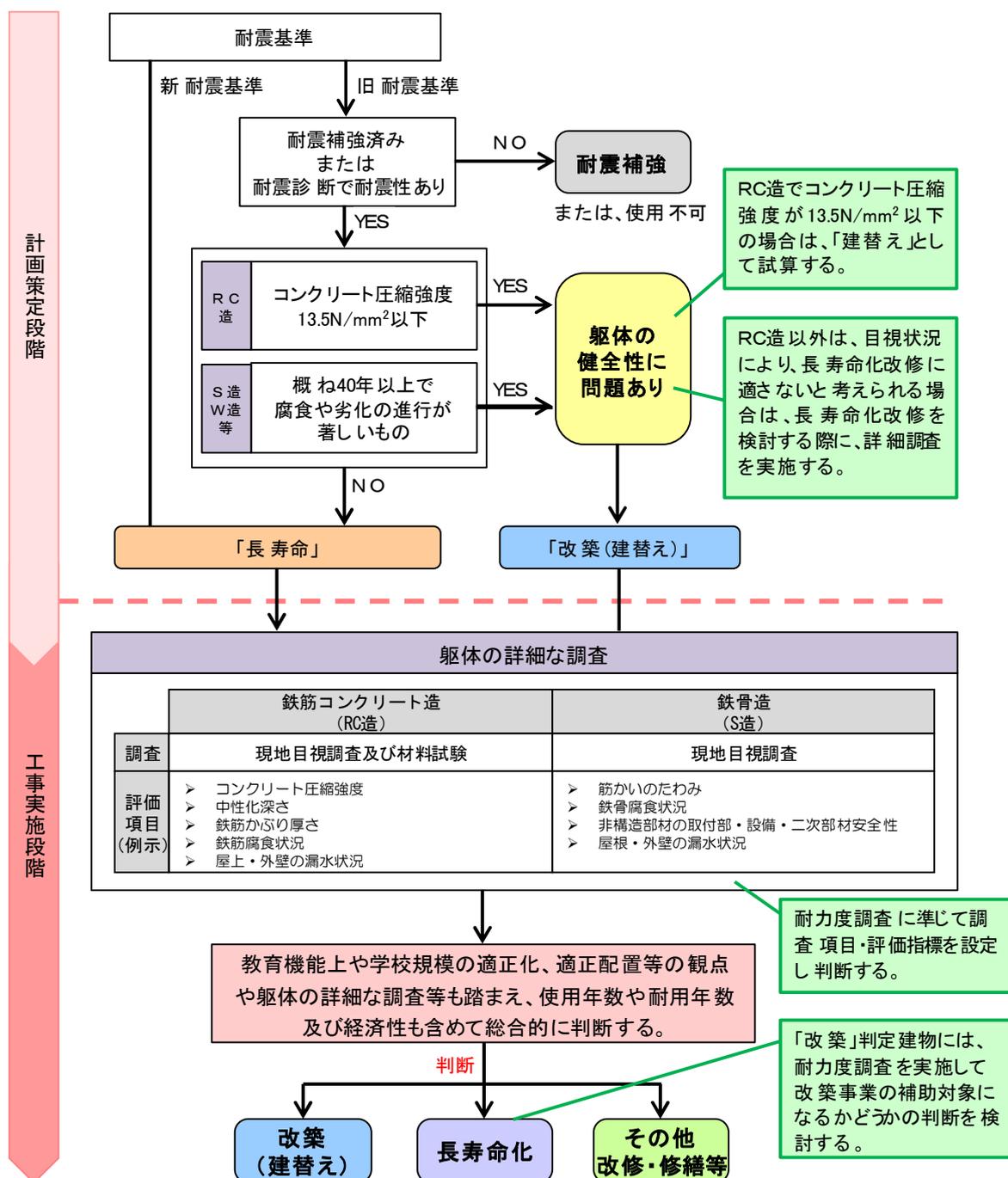
(3) 長寿命化の判断

長寿命化の判断は、「学校施設の長寿命化計画策定にかかる解説書」平成29年3月（文部科学省）で示されており、計画策定段階では、耐震診断時の圧縮強度のデータと耐震安全性が確保されているかで判断します。

次に、工事実施段階では、躯体の詳細な調査を実施し、さらに経済性や、機能上などの観点から総合的に判断します。

また、築80年を迎える前に躯体の健全性を調査し、健全であれば、さらに長寿命化することを検討します。

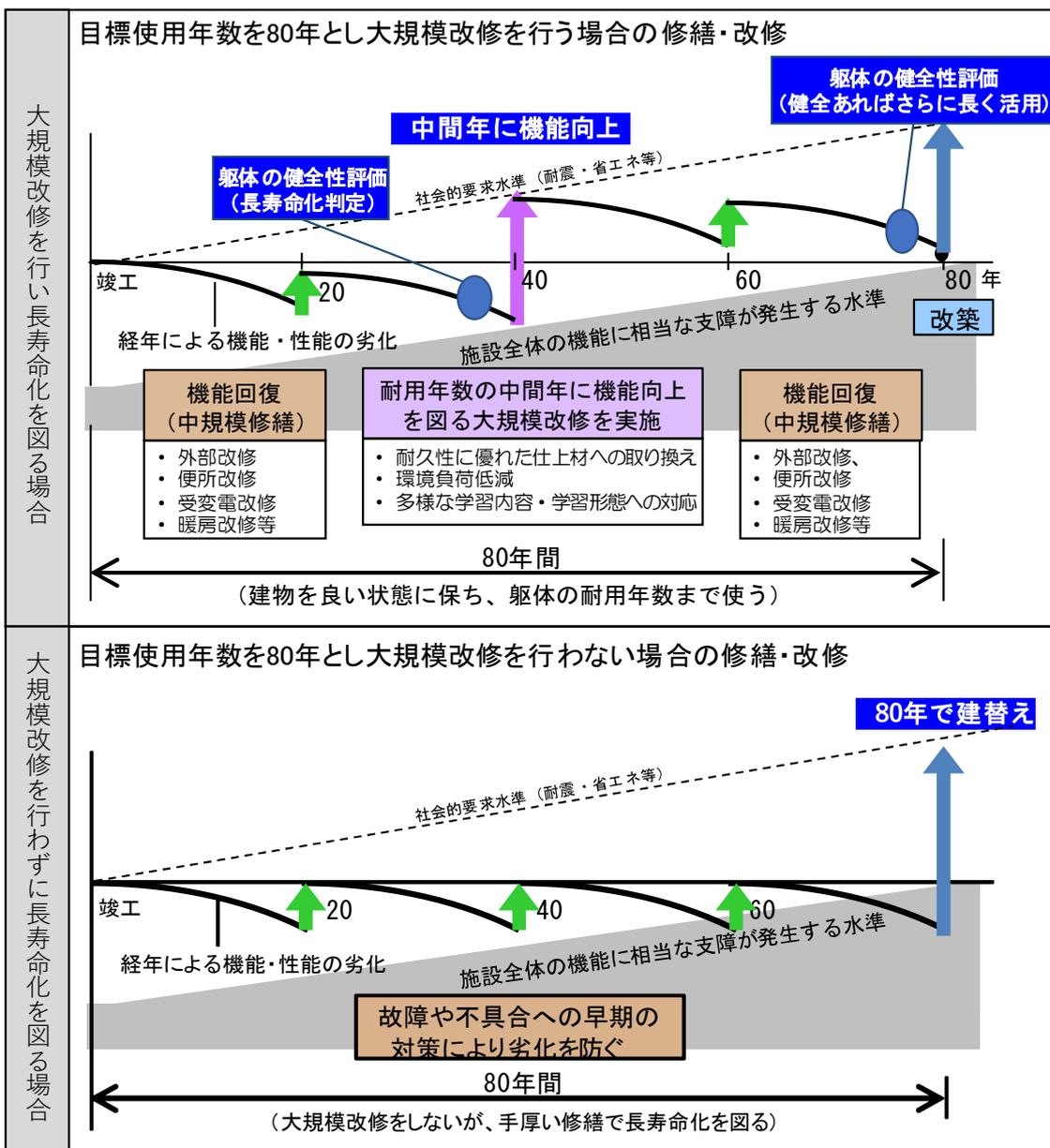
長寿命化判定フロー 「学校施設の長寿命化計画策定にかかる解説書」H29年3月（文部科学省）



3. 修繕・改修サイクルの見直し

長寿命化にあたり建物が経年で老朽化するほか、耐震性能や省エネ性能などの社会的要求水準は年々高まるため、定期的に修繕・改修を行わなければ建物の機能に支障が生じます。

そこで、建物の目標耐用年数の中間年で、建設時の整備水準を超える省エネ、バリアフリー、防災等を含む大規模改修を行うこととします。さらに部位の更新時期に合わせて20年程度の修繕周期を設定することで、建物に求められる性能を維持します。



建替え中心のあり方から大規模改修へ

- これまでの建替え中心の維持管理から、長寿命化に伴い目標耐用年数の中間年で安全性の確保と機能向上を図る大規模改修を行います。

維持管理・修繕・更新等の実施方針

目標耐用年数に応じた改修・更新サイクルの確立

- 部位別の更新時期に合わせて20年程度の修繕周期を設定し、建物に求められる性能を維持します。

4. 施設の整備水準

現状の整備レベルは建設当時の一般的なレベルでありましたが、現在の省エネルギー化等の社会的要求に対応できていないとは言えません。また、高萩市の気候・風土に適した仕様となっていない建物も多く、塩害による老朽化も進行しています。そこで、ここでは、学校施設を例に長寿命化に資するための改修サイクルに応じた改修内容と、同時に機能を向上する改修内容を設定します。整備レベルの向上とライフサイクルでの効果をあわせて検討し、最適解を求めます。

図 学校施設の整備例

		: 点線の改修は、状況により実施			
		I	III	IV	V
工種		部位改修 (15年~20年周期)	中規模修繕	長寿命化改修	建替え
機能回復	屋根 屋上	露出防水 (既存の上)	露出防水 (既存の上)	外断熱露出防水	外断熱露出防水
	外壁	外壁塗装	外壁塗装	防水型複層塗材	防水型複層塗材
	主要な 設備機器 の更新	主要設備機器の更新 (受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機)	主要設備機器の更新 (受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機)	主要設備機器の更新 (受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機) 配線・配管の更新	受変電設備・高架水槽 空調機・空調・昇降機 ・LED照明
	不具合への 対応		劣化部位全体の修繕	劣化部位全体の修繕 躯体補修 (ひびの補修等)	
	外部 開口部		シーリング打替え 開閉調整程度	サッシ交換 複層ガラス (断熱窓・強化ガラス)	複層ガラス (断熱窓・強化ガラス)
機能向上	内部		一部の内壁・天井の修繕	教室 床:フローリングブロック (下地共) 壁:EP塗装 間仕切り:アルミバーテンション 天井:LGS(耐震)下地PB その他:実験台、ロッカー、黒板 等の更新 廊下:天井・床・壁の改修 照明:LED化	教室 床:フローリングブロックt15、 壁:EP塗装 間仕切り:アルミバーテンション 天井:LGS(耐震)下地PB その他:実験台、ロッカー、黒板 等の更新 廊下:ビニール床シート 照明:LED
	トイレ 空調 昇降機	トイレドライ化 洋式便器(節水型) 空調設置 昇降機設置	トイレドライ化 洋式便器(節水型) 空調設置 昇降機設置	トイレドライ化 洋式便器(節水型) 空調設置 昇降機設置 断熱化 諸室の見直し 省エネルギー化 バリアフリー 多目的トイレ 内部木質化(一部) 設備システムの更新	ドライ式トイレ 洋式便器(節水型) 断熱化 バリアフリー 省エネルギー化 オストメイト対応トイレ 小人数教室等の設置 内部木質化(一部)
コスト の目安	学校	状況による	57,000円/㎡	170,000円/㎡	330,000円/㎡

第3章

施設類型ごとの個別施設計画

1. 公共施設等管理計画の基本方針<「管理計画 改訂版（令和5年5月改訂）」より抜粋>

(1) 公共施設等管理計画の基本方針

《大方針》

1. 市民サービスの維持向上のため、必要機能を検証し、適切な保有量へ総量を圧縮する

- ・機能の最適化を図り、行政サービスレベルの維持向上と総量の圧縮を実現
- ・将来人口変化・構成の変化に応じた市民ニーズへの対応と身の丈に合った施設総量の実現を果たす

2. 既存施設の効果的な複合化・多機能化を図る

- ・施設が集中する市街地(市東部)において、適正量・適正配置の実現
- ・既存施設を積極的に有効活用し、施設の複合化・多機能化を実現する

3. 財政と連動した公共施設・インフラ資産のマネジメントの実現

- ・施設の再編に伴ったインフラの在り方を検討し、公共施設と両面から最適化を図る
- ・今後の施設の方向性と合わせて建替えや長寿命化を計画的に実施する
- ・更新、維持管理、運営において、中長期的な視点に基づき段階的な再編の実現

〈具体的な方針〉

① 市街地と山間部等の地域特性(人口構成・公共施設整備状況等)に応じた施設の再編

- ・市の保有面積の80%、市の人口の70%が集中する市街地の施設の在り方を見直した施設再編を検討
- ・過疎化が進行する山間部の地域特性と連動した施設再配置計画の検討

② 機能の複合化・多機能化・機能転換等による既存施設の有効活用(施設重視から機能重視へ)

- ・多機能化を促進し、市民サービスを維持・向上させながら、公共施設を「資産」と位置付け、有効活用していく。
- ・低利用施設の有効活用、近接する類似施設の集約化・共用化、余剰スペース活用による施設の複合化・多機能化等を行う。また、複合・集約化にあたっては、拠点を中心に公共公益機能を集積する。
- ・公共施設の改修や更新を行う際は、福祉や生活環境等の維持・向上のため、ユニバーサル・デザイン化を進めるとともに、太陽光発電や蓄電の導入、省エネルギー改修など、脱炭素化の取組を推進する。

③ 市民・民間事業者との協働

- ・民間事業者の活力による施設の更新・維持管理・運営の効率化促進
- ・公共施設マネジメント白書の発行をはじめ、必要なデータを情報公開することにより、市民と行政とが問題意識の共有化を図り、市民と協働で課題解決に取り組む。

④ 施設の最新情報の一元管理による継続的な実態把握の実施と計画の確実な推進

- ・公共施設マネジメントや財産管理に総合的・戦略的に取り組むための体制を構築し、一貫した施設データの管理・更新を行う。
- ・個別の事業計画と全体方針との調整を行い、確実に推進する。

削減目標	(公共施設)	(公共施設)	(インフラ)
	面積削減：62% (約9.0万㎡削減)	コスト削減：73% (約12.1億円/年削減)	26% (約3.9億円/年削減)
目標期間	40年間 令和2(2020)年度～令和41(2059)年度		

(2) 施設類型別の方向性

■ 公共施設

主な用途	今後の方向性					
	施設類型別の方向性	削減面積				40年後の面積
		～2029	～2039	～2049	～2059	
市役所等 約 6,400 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る 	—	—	—	—	6,400 ㎡
その他文化・教育施設、 体育館、図書館 約 10,000 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設は、耐用年数をむかえた段階で廃止し、類似施設へ機能移転 	—	△3,000 ㎡	△1,600 ㎡	—	5,400 ㎡
福祉施設等 約 6,000 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る 	—	—	—	—	6,000 ㎡
市営住宅 約 47,700 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から削減 民間住宅の借上げ方式への転換等により、施設総量の圧縮を図る 経過年数に限定せず、維持管理費とのバランスに留意して施設廃止を検討 	△4,200 ㎡	△4,800 ㎡	△29,600 ㎡	—	9,100 ㎡
コミュニ ティ施設 約 10,100 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対しての適正量を検討し、類似施設や機能の重複している施設を機能転換し、集会機能の全体総量の圧縮を図る。その際、老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から廃止 公民館や学校等の空きスペースを活用し機能移転を行う。 	△4,800 ㎡	△2,700 ㎡	+8,000 ㎡	△3,800 ㎡	6,800 ㎡
学校施設 約 44,600 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 将来の児童生徒数を見据え、適正規模・適正配置により総量を圧縮する 	△7,300 ㎡	△13,600 ㎡	△12,400 ㎡	—	11,300 ㎡
児童福祉施設 約 2,900 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 幼保一元化を推進し、現在保有する5施設を段階的に集約して総量を圧縮する 	△870 ㎡	△1,170 ㎡	—	—	860 ㎡
環境衛生施設等 約 10,600 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 施設の稼働率等を考慮の上、施設の更新時に適正規模を検討し圧縮を図る 	△1,400 ㎡	—	—	—	9,200 ㎡
閉校・廃止施設 約 6,700 ㎡	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設は解体する。また、利活用を検討する 	+7,100 ㎡	+1,300 ㎡	△300 ㎡	△14,800 ㎡	0 ㎡
計 145,000 ㎡		△11,470 ㎡	△23,970 ㎡	△35,900 ㎡	△18,600 ㎡	55,060 ㎡

■ インフラ施設

分野	改善の方向性	目標値
道路	<p>道路損傷の進行速度を考慮し、用途地域と連動した維持・更新を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 用途地域と松岡エリアについては、人口の密集度に伴う道路損傷の進行速度を考慮し、更新サイクルを原則「30年」とする。施設更新については、定期点検に基づき「舗装修繕計画」を更新しながら実施する。 その他の道路については、用途地域と松岡エリア同様の取り扱いとするが、道路損傷の進行速度より更新サイクルを原則「50年」とする。 	119.2 億円 (3.0 億円/年)
橋りょう	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検に基づく予防保全により施設の長寿命化を実施し、耐用年数を原則「60年」とする。 「橋梁長寿命化計画」に基づき維持・更新を実施する。施設更新については、定期点検により施設の損傷度合いを確認し、その結果により更新時期を決定する。 5年毎に定期点検を実施し、施設の損傷状況を把握し、「橋梁長寿命化計画」に反映させるため、計画策定と定期点検の費用として0.2億円を計上する。 	28.7 億円 (0.7 億円/年)
公園	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設については、遊具等の長寿命化に配慮した予防保全に取り組む。 日常点検や定期点検の実施により、劣化状況や小規模段階での破損箇所の早期発見に努め、利用者の安全性確保を図る。 劣化の進行に繋がる遊具等の腐食、錆、破損等を抑制するための塗装等、日常的な維持管理の中で劣化を抑制するための対応を行う。 長寿命化の視点で維持管理を実施するとともに、定期検査報告書や実施状況写真等データの保存、集約・蓄積により、維持管理業務の効率化と長寿命化対策に有効に活用する。 	19.3 億円 (0.5 億円/年)
上水道 工業用水道	<p><配水管></p> <ul style="list-style-type: none"> 創設当時の配水管は45年以上経過しており、一部に漏水事故は発生しているものの多発はしていないこと、また、他自治体において、更新年数を50年、60年に設定していることから、本市においては、安全性の確保を考慮し更新年数「50年」を基準とする。 ただし、土質により埋設管の状況が異なることから、試験掘調査などを定期的実施し、埋設管の状況を確認、把握し、また、他工事との関連により、優先順位及び更新年を検討し、延命化、標準化を図り、コスト縮減する。 <p><浄水施設></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の整備点検、修繕を定期的実施し、また、耐震化（耐震補強）により延命化を図り、コスト縮減する。更新年数は、法定耐用年数60年+10年の「70年」とする。 	<p>上水道 29.4 億円 (0.7 億円/年)</p> <p>工業用水道 12.4 億円 (0.3 億円/年)</p>
下水道	<p><管路></p> <ul style="list-style-type: none"> 管路の性能（強度等）が大きく向上した後の昭和55年度以降に整備した管路のうち、劣化要因の少ない環境下にある管路は、一定の強度を保っていると想定される。今後、標準耐用年数50年を迎える管路の更新は多額の事業費を要するため、対象となる管路を絞り込んで対応する。 管路のテレビカメラ調査・補修により、使用可能年数が延びることとして、更新年数「70年」とする。 	73.0 億円 (1.8 億円/年)

2. 個別施設計画

■ 公共施設

(1) 高萩市役所

① 対象施設一覧

本庁舎は、2017 年度新設の施設となっています。

図表 施設一覧

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				市役所	高萩市本町1丁目100-1	6,365	2017	RC	4F	

② 現状と課題

- ・ 平成 29 年度新庁舎が供用開始されており、建物の状態は良好である。

③ 施設類型の基本方針

- 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和 6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
市役所本庁舎						
更衣室棟						

※特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和 41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
市役所本庁舎		中規模修繕		
更衣室棟		中規模修繕		

(2) その他文化・教育施設

① 対象施設一覧

その他文化・教育施設として、文化会館、リーベロたかはぎ、高浜スポーツ広場の3施設、資料館等では県指定文化財穂積家住宅、歴史民俗資料館の2施設の5施設があります。

図表 施設一覧

	地域				名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能							備考
	高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域							ホール	多目的 ホール	・集会 ・会議 ・集会	調理	音楽	体育室	展示	
その他文化会館	●				文化会館	3,016	1980	SRC	3F	市直営	● (固定 670席)	—	●●●	—	—	—	● (140 ㎡) (100 人)	
	●				リーベロたかはぎ	717	2006	W	1F	市直営	—	● (243㎡) (255人)	—	—	—	—	●● (53 ~ 128 ㎡) (55 ~ 130 人)	
	●				高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年 ホーム)	868	1977	RC	1F	市直営	—	● (136㎡)	●●	●	●	●	—	敷地内にテニスコート・グラウンド併設
の文化財 展示・保存 等			●		県指定文化財 穂積家住宅	322	1983	W	1F	委託(シル バー人材)	—	—	—	—	—	—	—	
	●				歴史民俗資料館	686	1983	RC	2F	市直営・委 託	—	—	—	—	—	—	—	

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は1棟、築30年以上40年未満の棟は2棟である。

■ 利用・運営状況

- ・ 施設数等に大きな変化はない。
- ・ その他文化・教育施設の利用状況はほぼ横ばいであるが、文化会館では微減傾向となっている。
- ・ 文化会館・リーベロたかはぎ・高浜スポーツ広場及び歴史民俗資料館は市の直営、穂積家住宅は管理をシルバー人材へ委託している。

③ 施設類型の基本方針

- 将来的な集約・廃止を見据え、長寿命化改修は行わずに、耐用年数までは、消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 学校の小中一元化に合わせて、機能を集約する。
- 文化財については、計画的な修繕を適宜実施し管理する。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
文化会館			設計	中規模		
リーベロたかはぎ						
高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年ホーム)						
県指定文化財 穂積 家住宅						
歴史民俗資料館						

※高浜スポーツ広場は、2022年に特定建築物定期点検（1回/3年）を実施

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
文化会館	中規模修繕	複合化・建替え		
リーベロたかはぎ		中規模修繕	機能集約	
高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年ホーム)			機能集約	
県指定文化財 穂積 家住宅				
歴史民俗資料館		複合化・建替え		

(3) 体育施設

① 対象施設一覧

スポーツ施設として、4施設保有しています。

保有機能をみると、競技場等の屋内施設の高萩市民体育館があり、その他3施設はグラウンド等の屋外施設となっています。

図表 施設一覧

地域				施設名称	建築年度 (年度)	敷地面積	延床面積 (㎡)	保有機能					
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域					競技場 (体育館)	柔道場 剣道場	多目的 グラウンド	野球場 (公式)	テニス コート	ゲート ボール場
		●		サンスポーツランド高萩	2003	31,195 ㎡	199 ㎡			● (照明無)			●
●				高萩市民体育館	1975	2,740 ㎡	1,997 ㎡	●	●				
●				高萩市民球場	1972	31,296 ㎡	1,263 ㎡				●		
●				高浜スポーツ広場	1977	23,736 ㎡	868 ㎡			● (照明有)		● (照明有)	
						88,967 ㎡	4,327 ㎡	1施設	1施設	2施設	1施設	1施設	1施設

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 市民体育館は築47年で劣化が顕在化しており、老朽化が進行している。

■ 利用・運営状況

- ・ 施設数等は大きな変化がない。
- ・ 直近5年間の利用者数、利用件数はほぼ横ばいで推移している。
- ・ 施設は市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 各種点検や計画的な修繕を適宜実施し、長寿命化を図る。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
サンスポーツランド高萩						
高萩市民体育館 (※1)				● 設計	● 中規模	
高萩市民球場						
高浜スポーツ広場 (※2)						

※1 2022年に特定建築物定期点検（1回/3年）を実施

※2 建屋の修繕計画は、「(2) その他文化・教育施設」の高浜スポーツ広場（旧勤労青少年ホーム）で記載

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
サンスポーツランド 高萩		中規模修繕		中規模修繕
高萩市民体育館	中規模修繕	複合化・建替え		
高萩市民球場		中規模修繕		中規模修繕
高浜スポーツ広場				

(4) 図書館

① 対象施設一覧

図書館施設として、1施設保有しています。

図表 施設一覧

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				高萩市立図書館	高萩市高萩8-1	1,313	1983	RC	2F	

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築37年経過しているが、建物は比較的良好な状態にある。

■ 利用・運営状況

- ・ 入館者数は、平成20年度約10.3万人から一貫して減少傾向となっている。
- ・ 直近5年間の貸出冊数は、年10万冊前後で推移している。
- ・ 市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 学校の小中一元化に合わせて、他の公共施設へ機能を移転する。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高萩市立図書館		● 設計	中規模	中規模	中規模	●

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高萩市立図書館	中規模修繕	複合化・建替え		

(5) 福祉施設

① 対象施設一覧

福祉施設として、総合福祉センターを保有しています。

図表 施設一覧

地域				名称	延床面積 (㎡)	建築年 度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能							備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							ホ ー ル	ホ ー ル 多 目 的	集 会 議	調 理	音 楽	体 育 室	展 示	
●				総合福祉センター	5,972	2000	RC・S	2F	市直営	—	● (可動 284人)	●●●	—	—	—	●	多目的ホールは、ス テージ付き

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築19年と比較的新しい施設である。

■ 利用・運営状況

- ・ 直近10年間の年間利用者数は概ね5万人で推移している。
- ・ 多目的ホールの稼働率は24%、会議室及び研修室は19%～35%となっている。
- ・ 市及び社会福祉協議会、高萩市シルバーセンターの事務所をかねている。
- ・ 総合福祉センターは市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 各種点検や計画的な修繕を適宜実施し、長寿命化を図る。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
総合福祉センター	設計	中規模	中規模	中規模	中規模	
総合福祉センター (車庫棟)	設計	中規模				

※特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
総合福祉センター	中規模修繕		長寿命化	
総合福祉センター （車庫棟）	中規模修繕		長寿命化	

(6) 市営住宅

① 対象施設一覧

市営住宅は、7施設45棟665戸保有しています。

図表 施設一覧

地域				施設名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	戸数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								
●				1 高浜住宅 1号棟	高萩市高浜町3-103	1,734	1984	RC	4・5F	24	
●				2 高浜住宅 2号棟		2,168	1986	RC	4・5F	30	
●				3 高浜住宅 3号棟		2,020	1983	RC	4・5F	30	
●				4 高浜住宅 4号棟		2,168	1985	RC	4・5F	30	
●				5 高浜住宅 5号棟		1,446	1983	RC	4・5F	20	
●				6 高浜住宅 6号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				7 高浜住宅 7号棟		1,930	1981	RC	4・5F	30	
●				8 高浜住宅 8号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				9 高浜住宅 9号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				10 高浜住宅 10号棟		2,020	1988	RC	4・5F	30	
●				11 高浜住宅 11号棟		2,168	1989	RC	4・5F	30	
●				1 高浜第二住宅 12号棟	高萩市 高浜町2-2	1,159	1983	RC	3・4F	16	
●				2 高浜第二住宅 13号棟		869	1984	RC	3・4F	12	
●				3 高浜第二住宅 14号棟		812	1986	RC	3・4F	12	
●				4 高浜第二住宅 15号棟		869	1987	RC	3・4F	12	
●				1 花貫住宅 1号棟	高萩市高浜町3-162-1	1,400	1994	RC	3～5F	18	
●				2 花貫住宅 2号棟		842	1994	RC	3～5F	11	
●				3 花貫住宅 3号棟		1,285	1994	RC	3～5F	16	
●				4 花貫住宅 4号棟		843	1995	RC	3～5F	11	
●				5 花貫住宅 5号棟		970	1995	RC	3～5F	12	
●				6 花貫住宅 6号棟		1,009	2004	RC	3～5F	11	
●				7 花貫住宅 7号棟		1,030	1997	RC	3～5F	12	
●				8 花貫住宅 A棟		323	1973	RC	3～5F	6	
●				9 花貫住宅 B棟		323	1973	RC	3～5F	6	
●				10 花貫住宅 C棟		920	1974	RC	3～5F	16	
●				1 石滝住宅 1号棟	高萩市石滝2612	936	1975	RC	4・5F	16	
●				2 石滝住宅 2号棟		1,170	1976	RC	4・5F	20	
●				3 石滝住宅 3号棟		1,170	1977	RC	4・5F	20	
●				4 石滝住宅 4号棟		1,170	1979	RC	4・5F	20	

地域				施設名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	戸数	備考
高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域								
●				1 萩ヶ丘住宅 1～5号室	高萩市高萩761	170	1968	RC	簡平・簡二	5	
●				2 萩ヶ丘住宅 11～15号室		170	1968	RC	簡平・簡二	5	
●				萩ヶ丘住宅 16～20号室			1969	RC	簡平・簡二	0	廃止
●				3 萩ヶ丘住宅 21～25号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	
●				4 萩ヶ丘住宅 26～30号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	
●				5 萩ヶ丘住宅 31～35号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	
●				6 萩ヶ丘住宅 36～40号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	
●				7 萩ヶ丘住宅 41～48号室		369	1972	RC	簡平・簡二	8	
●				8 萩ヶ丘住宅 49～56号室	342	1972	RC	簡平・簡二	8		
●				1 坂東塚住宅 1～4,6号室	高萩市高萩761-4	237	1971	RC	簡二	5	
●				2 坂東塚住宅 7～13号室		277	1971	RC	簡二	7	
●				坂東塚住宅 14～20号室			1971	RC	簡二	0	廃止
●				坂東塚住宅 21～28号室			1970	RC	簡二	8	廃止
●				坂東塚住宅 29～36号室			1972	RC	簡二	0	廃止
●				坂東塚住宅 37～40号室			1972	RC	簡二	0	廃止
●				3 坂東塚住宅 41～42号室		92	1970	RC	簡二	2	
●				4 坂東塚住宅 43～44号室	85	1972	RC	簡二	2		
	●			1 手綱住宅北 1号棟(災害)	高萩市上手綱1217-3	562	2014	RC	3・4F	6	
	●			2 手綱住宅北 2号棟		680	2009	RC	3・4F	8	
	●			3 手綱住宅北 3号棟		738	2008	RC	3・4F	8	
	●			4 手綱住宅北 4号棟(災害)		1,826	2014	RC	3・4F	20	

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 市が保有する築30年以上の施設のうち、約41%が市営住宅と、公共施設の中で最も老朽化が進行している。
- ・ 築40年以上の棟は22棟(約42%)で、大半の建物で劣化が顕在化しているが、良好な建物も5棟あり改修が行われている。

■ 利用・運営状況

- ・ 萩ヶ丘住宅1棟、坂東塚住宅4棟が廃止となっているが、手綱住宅で2棟増加している。
- ・ 人口減少により全体的に入居率は低下している。
- ・ 市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から廃止する。
- 民営化や民間住宅の借上げ方式への転換等により施設総量を圧縮する。
- 経過年数に限定せず、維持管理費とのバランスに留意して施設廃止を検討する。
- 施設敷地の維持管理等を考慮し、団地単位での廃止を原則とする。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高浜住宅1号棟						
高浜住宅2号棟						
高浜住宅3号棟					● 設計	
高浜住宅4号棟					● 設計	
高浜住宅5号棟						
高浜住宅集会室					● 設計	
高浜住宅6号棟		● 設計	● 中規模			
高浜住宅7号棟			● 設計	● 中規模		
高浜住宅8号棟				● 設計	● 中規模	
高浜住宅 ガス庫・ポンプ室						
高浜住宅9号棟					● 設計	
高浜住宅10号棟						
高浜住宅11号棟						
高浜第二住宅12号棟						
高浜第二住宅13号棟						
高浜第二住宅14号棟						
高浜第二住宅15号棟						
花貫住宅1号棟						
花貫住宅2号棟						
花貫住宅3号棟						
花貫住宅4号棟						
花貫住宅5号棟	● 中規模					

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
花貫住宅6号棟						
花貫住宅集会室						
花貫住宅7号棟	●	●				
花貫住宅A棟						
花貫住宅B棟						
花貫住宅C棟						
石滝住宅1号棟						
石滝住宅2号棟						
石滝住宅3号棟						
石滝住宅4号棟						
石滝集会所						
萩ヶ丘住宅1～5号室	●	●				
萩ヶ丘住宅11～15号室	●				●	
萩ヶ丘住宅21～25号室		●	●			
萩ヶ丘住宅26～30号室		●	●			
萩ヶ丘住宅31～35号室	●	●				
萩ヶ丘住宅36～40号室	●				●	
萩ヶ丘住宅41～48号室			●	●		
萩ヶ丘住宅49～56号室	●				●	
萩ヶ丘集会所	●				●	
坂東塚住宅1～4,6号室	●	●				
坂東塚住宅7～13号室	●				●	
坂東塚住宅41～42号室	●				●	

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
坂東塚住宅43～44号 室			住替え			
坂東塚集会所		住替えに伴い解体				
手綱住宅北1号棟 (災害)						
手綱住宅北2号棟						
手綱住宅北3号棟						
手綱住宅北4号棟 (災害)						

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高浜住宅1号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅2号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅3号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅4号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅5号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅集会所	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅6号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅7号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅8号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅 ガス庫・ポンプ室			住替えに伴い用途廃止	
高浜住宅9号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅10号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	
高浜住宅11号棟	中規模修繕		住替え及び用途廃止を 検討	

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高浜第二住宅12号棟		中規模修繕	住替え及び用途廃止を 検討	
高浜第二住宅13号棟		中規模修繕	住替え及び用途廃止を 検討	
高浜第二住宅14号棟		中規模修繕	住替え及び用途廃止を 検討	
高浜第二住宅15号棟		中規模修繕	住替え及び用途廃止を 検討	
花貫住宅1号棟		中規模修繕	住替え及び用途廃止を 検討	
花貫住宅2号棟		中規模修繕	住替え及び用途廃止を 検討	
花貫住宅3号棟		中規模修繕		中規模修繕
花貫住宅4号棟		中規模修繕		中規模修繕
花貫住宅5号棟	中規模修繕		中規模修繕	
花貫住宅6号棟	中規模修繕		中規模修繕	
花貫住宅集会室			中規模修繕	
花貫住宅7号棟	中規模修繕		中規模修繕	
花貫住宅A棟	住替え及び用途廃止を 検討			
花貫住宅B棟	住替え及び用途廃止を 検討			
花貫住宅C棟	住替え及び用途廃止を 検討			
石滝住宅1号棟		住替え及び用途廃止を 検討		
石滝住宅2号棟		住替え及び用途廃止を 検討		
石滝住宅3号棟		住替え及び用途廃止を 検討		
石滝住宅4号棟		住替え及び用途廃止を 検討		
石滝集会所		住替え及び用途廃止を 検討		
萩ヶ丘住宅1～5号室	解体			
萩ヶ丘住宅11～15号 室	解体			
萩ヶ丘住宅21～25号 室	解体			
萩ヶ丘住宅26～30号 室	解体			

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
萩ヶ丘住宅31～35号室	解体			
萩ヶ丘住宅36～40号室	解体			
萩ヶ丘住宅41～48号室	解体			
萩ヶ丘住宅49～56号室	解体			
萩ヶ丘集会所	解体			
坂東塚住宅1～4,6号室	解体			
坂東塚住宅7～13号室	解体			
坂東塚住宅41～42号室	解体			
坂東塚住宅43～44号室	解体			
坂東塚集会所	解体			
手綱住宅北1号棟 (災害)		中規模修繕		中規模修繕
手綱住宅北2号棟		中規模修繕		中規模修繕
手綱住宅北3号棟	中規模修繕		中規模修繕	
手綱住宅北4号棟 (災害)		中規模修繕		中規模修繕

(7) コミュニティ施設

① 対象施設一覧

コミュニティ施設として、公民館を 7 施設、集会所を 23 施設、生活改善センターを 16 施設、その他コミュニティ施設を 4 施設の合計 50 施設保有しています。

図表 施設一覧

	地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年 度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能					備考
	高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								会 議 室	調 理	工 作	図 書 室	そ の 他	
公民館	●				1 中央公民館	高萩市高萩17-3	981	1971	RC	2F	市直営	●	●	●	—	—	
	●				2 石滝公民館	高萩市石滝483-3	111	1984	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				3 安良川公民館	高萩市安良川74-1	329	1962	RC	2F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				4 竹内公民館	高萩市島名2230	151	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
		●			5 松岡地区公民館	高萩市下手綱787-1	613	1989	S・W	1F	市直営	●	●	—	●	—	
			●		6 若栗公民館	高萩市若栗227	94	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
				●	7 中戸川公民館	高萩市中戸川1211	132	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
集会所	●				1 有明町集会所	高萩市有明町2丁目13-1	195	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				2 肥前町集会所	高萩市肥前町2丁目1-8	101	1979	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				3 東本町集会所	高萩市東本町2丁目51	246	1995	RC	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				4 駒形集会所	高萩市安良川272-164	136	1990	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				5 翠ヶ岡集会所	高萩市安良川2183-6	84	2005	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				6 本町・春日町集会所	高萩市春日町3-10-16	70	2006	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				7 石滝上ノ台集会所	高萩市石滝2604-3	135	1991	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				8 台高萩集会所	高萩市高萩903-1	135	1992	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			9 駒木原集会所	高萩市高萩790-2	190	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			10 向洋台集会所	高萩市島名2118-87	161	1985	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			11 島名東集会所	高萩市島名1710-3	109	1997	軽量S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			12 上島名千代町集会所	高萩市島名2253-142	128	1995	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			13 秋山中集会所	高萩市秋山625-5	120	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			14 秋山南集会所	高萩市秋山2433-9	123	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			15 和野集会所	高萩市秋山83-1	98	1979	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		16 高戸集会所	高萩市高戸810-3	132	1997	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		17 行人塚集会所	高萩市高戸192-1	204	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		18 上原集会所	高萩市上手綱3223-14	40	1988	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		19 小島田地集会所	高萩市下手綱1962-2	233	1995	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		20 千代田集会所	高萩市上手綱1911-1	110	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		21 関口集会所	高萩市上手綱2807-9	112	1981	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
			●		22 てつな住宅団地集会所	高萩市上手綱5150-4	232	2012	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
				●	23 福平集会所	高萩市福平93-1	45	1994	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
生活改善センター		●			1 秋山生活改善センター	高萩市秋山806-1	108	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	調理はミニキッチン程度
		●			2 秋山下生活改善センター	高萩市秋山1164	131	1985	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			3 秋山中集落センター	高萩市秋山1829	155	1990	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			4 島名多目的研修会館	高萩市島名1604-2	219	1980	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			5 山手集落センター(山手公民館)	高萩市高萩460-3	174	1989	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
			●		6 北組コミュニティーセンター	高萩市上手綱2485-1	146	1999	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
			●		7 上手綱生活改善センター	高萩市上手綱1769-6	108	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
			●		8 下組生活改善センター	高萩市上手綱52	130	1986	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
			●		9 石舟生活改善センター	高萩市上手綱3146-1	110	1986	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
			●		10 赤浜田園都市センター	高萩市赤浜1397-1	150	2010	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
				●	11 大能生活改善センター	高萩市大能653	99	1979	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	調理はミニキッチン程度
				●	12 上君田生活改善センター	高萩市上君田715	271	1981	S・W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
				●	13 横川生活改善センター	高萩市横川9-1	134	1989	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
				●	14 緑の郷コミュニティーセンター	高萩市下君田755	194	1976	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
				●	15 大金田多目的集会所	高萩市横川947	53	1992	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
				●	16 鳥曾根多目的集会所	高萩市中戸川1848	101	1993	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
その他	●				1 高萩市民センター	高萩市春日町2-22	744	1981	RC	3F	委託(シルバー人材)	●	●	●	—	—	
		●			2 高萩市里山交流館	高萩市上君田715-1	118	1994	W	1F	市直営	●	●	—	—	—	平成23年開館
			●		3 森林公園	高萩市下手綱1952-17	311	1999	W	1F	委託(シルバー人材)	—	—	—	—	—	● 森林公園管理棟・グリーンミュージアム管理棟
			●		4 花貴物産センター	高萩市大能1100-2	367	2001	W	1F	指定管理	—	—	—	—	—	● 販売コーナー・食事処

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は11棟（約20%）ある。また、築20年未満の棟についても劣化が見られ、全体的に劣化が進行している。

■ 利用・運営状況

- ・ 利用者数は全体的に微減傾向にあり、小規模集会施設では1日当たりの利用が10人未満の施設が大半を占めている状況は変わっていない。
- ・ 地域別では、緑の郷コミュニティセンターの利用が増加したため高岡地域で増加したが、その他の地域はいずれも減少している。
- ・ 集会所・生活改善センター・公民館分館については、市直営施設で地元住民の方を管理人として委嘱している。

③ 施設類型の基本方針

- 集会所・生活改善センター・公民館の管理課が異なるため、管理を一元化し、施設の具体的な集約・廃止方針を検討する。
- 将来的な集約・廃止を見据え、長寿命化改修は行わずに、耐用年数までは、消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 現在利用頻度が低い施設については、耐用年数が残っていても中規模修繕は行わず、事後保全とする。
- 集約後の施設は、用途廃止後、解体を基本とする。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
中央公民館						
石滝公民館						
竹内公民館						
安良川公民館	施設の集約・ 廃止方針を 検討					
松岡地区公民館						
若栗公民館						
中戸川公民館						
有明町集会所						

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
肥前町集会所						
東本町集会所						
駒形集会所						
翠ヶ岡集会所						
本町・春日町集会所						
石滝上ノ台集会所						
駒木原集会所						
向洋台集会所						
島名東集会所						
上島名千代町集会所						
秋山中集会所						
秋山南集会所						
和野集会所						
台高萩集会所						
高戸集会所						
行人塚集会所						
上原集会所						
小島団地集会所						
千代田集会所						
関口集会所						
てつな住宅団地集会所						

施設の集約・
廃止方針を
検討

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
福平集会所						
秋山生活改善センター						
秋山下生活改善センター						
秋山中集落センター						
島名多目的研修会館						
山手集落センター (山手公民館)						
北組コミュニティーセンター						
上手綱生活改善センター						
下組生活改善センター						
石舟生活改善センター	施設の集約・ 廃止方針を 検討					
赤浜田園都市センター						
大能生活改善センター						
上君田生活改善センター						
横川生活改善センター						
横川多目的集会所施設 (体育館)						
横川多目的集会所施設 (校舎)						
緑の郷コミュニティーセンター						
大金田多目的集会所						
鳥曽根多目的集会所						
高萩市里山交流館						

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高萩市民センター	設計	中規模				
森林公園						
花貫物産センター (処理所・加工場)		設計	中規模			
花貫物産センター (食堂・調理室)		設計	中規模			

※公民館（地区公民館を含む）は、特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

※その他のコミュニティ施設も、消防設備点検（2回/年）を実施

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
中央公民館				
石滝公民館				
竹内公民館				
安良川公民館				
松岡地区公民館				
若栗公民館				
中戸川公民館	施設の集約・ 廃止方針を 検討	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施
有明町集会所				
肥前町集会所				
東本町集会所				
駒形集会所				
翠ヶ岡集会所				
本町・春日町集会所				

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
石滝上ノ台集会所				
駒木原集会所				
向洋台集会所				
島名東集会所				
上島名千代町集会所				
秋山中集会所				
秋山南集会所				
和野集会所				
台高萩集会所				
高戸集会所				
行人塚集会所	施設の集約・ 廃止方針を 検討	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施
上原集会所				
小島団地集会所				
千代田集会所				
関口集会所				
てつな住宅団地集会所				
福平集会所				
秋山生活改善センター				
秋山下生活改善センター				
秋山中集落センター				
島名多目的研修会館				

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
山手集落センター (山手公民館)				
北組コミュニティー センター				
上手綱生活改善セン ター				
下組生活改善セン ター				
石舟生活改善セン ター				
赤浜田園都市セン ター				
大能生活改善セン ター				
上君田生活改善セン ター	施設の集約・ 廃止方針を 検討	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施	2020～2021に 検討した方針 に基づき集約 ・廃止を実施
横川生活改善セン ター				
花貫物産センター (食堂・調理室)				
横川多目的集会所施 設(体育館)				
横川多目的集会所施 設(校舎)				
緑の郷コミュニ ティーセンター				
大金田多目的集会所				
鳥曾根多目的集会所				
高萩市里山交流館				
高萩市民センター	中規模修繕		中規模修繕	
森林公園				
花貫物産センター (処理所・加工場)	中規模修繕		長寿命化	
花貫物産センター (食堂・調理室)	中規模修繕		長寿命化	

(8) 学校施設

① 対象施設一覧

学校施設として、小学校4校、中学校3校、合計7校を保有しています。基本方針策定時より、小学校・中学校ともに1校ずつ減少しています。

図表 施設一覧

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援	
●				小学校	1 高萩小学校	高萩市安良川1048	6,594	1969	333	17	12	3
	●				2 秋山小学校	高萩市島名2161-1	5,601	1982	307	19	12	4
●					3 東小学校	高萩市有明町1-141	7,124	1973	179	9	7	2
		●			4 松岡小学校	高萩市下手綱43	5,458	2010	343	22	12	4
				小学校 計		24,776		1,162	67	43	13	
●				中学校	1 高萩中学校	高萩市高浜町1-77	8,759	1975	253	8	8	2
	●				2 秋山中学校	高萩市高萩273	6,980	1992	164	20	6	4
		●			3 松岡中学校	高萩市下手綱4	4,043	1985	189	5	6	2
				中学校 計		19,782		606	33	20	8	
				学校施設 合計		44,558		1,768	100	63	21	

※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記載

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は12棟（約50%）で老朽化が進行しているが、建物によっては良好な建物もあり、改修が行われている。

■ 利用・運営状況

- ・ 君田小中学校は松岡小中学校へ統合した。
- ・ 平成29年度に東幼稚園を東小学校内に複合化した。
- ・ 児童生徒数は減少傾向にあり、今後も30%以上減少予測となっており、将来の児童生徒数に見合った学校規模や配置を検討する。

③ 施設類型の基本方針

- 将来の児童生徒数を見据え、適正規模・適正配置により総量を圧縮する。
- 小学校のプールは、順次解体する。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高萩小学校 北側教室棟						
高萩小学校 南管理・教室棟						
高萩小学校 体育館						
高萩小学校 プール				設計 解体		
東小学校 特別教室棟						
東小学校 普通教室棟						
東小学校 管理・特別教室棟						
東小学校 体育館						
東小学校 プール		設計 解体				
高萩中学校 普通教室棟西側	学校施設のあり方検討委員会(仮)立上、計画策定					
高萩中学校 特別教室棟西側						
高萩中学校 技術室						
高萩中学校 武道場						
高萩中学校 体育館						
高萩中学校 プール						
秋山小学校 管理・教育棟						
秋山小学校 北側校舎						
秋山小学校 体育館						
秋山小学校 プール			設計 解体			
秋山中学校 普通教室棟						
秋山中学校 管理・特別教室棟						
秋山中 体育館						
秋山中学校 プール						
松岡小学校 教室棟						
松岡小学校 体育館						

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
松岡小学校 プール	設計 解体					
松岡中学校 普通教室棟	学校施設のあり方検討委員会(仮)立上、 計画策定					
松岡中学校 特別教室棟						
松岡中学校 普通教室棟増築分						
松岡中学校 体育館						
松岡中学校 プール						
学校給食センター						
高萩小中一貫校施設						

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高萩小学校 北側教室棟	集約化	集約化・建替え		
高萩小学校 南管理・教室棟	集約化	集約化・建替え		
高萩小学校 体育館	集約化	集約化・建替え		
高萩小学校 プール	解体			
東小学校 特別教室棟	集約化	集約化・建替え		
東小学校 普通教室棟	集約化	集約化・建替え		
東小学校 管理・特別教室棟	集約化	集約化・建替え		
東小学校 体育館	集約化	集約化・建替え		
東小学校 プール	解体			
高萩中学校 普通教室棟西側		集約化・建替え		
高萩中学校 特別教室棟西側		集約化・建替え		
高萩中学校 技術室		集約化・建替え		
高萩中学校 武道場		集約化・建替え		
高萩中学校 体育館		集約化・建替え		

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高萩中学校 プール				
秋山小学校 管理・教育棟		集約化		
秋山小学校 北側校舎		集約化		
秋山小学校 体育館		集約化		
秋山小学校 プール	解体			
秋山中学校 普通教室棟		集約・長寿命化		中規模修繕
秋山中学校 管理・特別教室棟		集約・長寿命化		集約化
秋山中学校 体育館		中規模修繕		集約化
秋山中学校 プール				
松岡小学校教室棟		長寿命化		中規模修繕
松岡小学校体育館		長寿命化		集約化
松岡小学校 プール	解体			
松岡中学校 普通教室棟		中規模修繕		
松岡中学校 特別教室棟		集約化		
松岡中学校 普通教室棟増築分		集約化		
松岡中学校 体育館		集約化		
松岡中学校 プール				
学校給食センター		建替え		中規模修繕
高萩小中一貫校施設		新設		中規模修繕

(9) 保育所・幼稚園

① 対象施設一覧

保育所・幼稚園施設として、保育所1施設、幼稚園4園を保有しています。
東幼稚園は、東小学校校舎内にあります。

図表 施設一覧

	地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	運営	備考
	高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								
保育所	●				高萩保育所	高萩市本町3-118	510	1978	S	1F	市直営	
幼稚園	●				第一幼稚園	高萩市本町4-5	665	1978	S	1F	市直営	
			●		松岡幼稚園	高萩市下手綱34	508	1987	W	1F	市直営	
	●				東幼稚園	高萩市有明町1-141	526	1971	S	1F	市直営	
		●			秋山幼稚園	高萩市島名2230	588	1982	S	1F	市直営	

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 5棟は築30年以上経過しており、築40年以上の棟は3棟ある。いずれの棟も劣化が顕在化している。

■ 利用・運営状況

- ・ 基本方針策定以降、施設数に変更はないが、平成29年度に東幼稚園を東小学校内に複合化した。
- ・ 幼稚園の入園率はいずれも50%以下と低い。
- ・ 市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 将来的には幼保一元化を推進し、現在保有する5施設を集約して総量を圧縮する。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高萩保育所	● 幼・保一元化施設へ移転		● 解体	●		
第一幼稚園	● 幼・保一元化施設へ移転		● 解体	●		
松岡幼稚園						

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
東幼稚園（東小校舎内）	● 幼・保一元化施設へ移転 ●		● 解体 ●			
秋山幼稚園						
幼・保一元化施設	● 設計・建設 ●					

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高萩保育所	集約化 解体			
第一幼稚園	集約化 解体			
松岡幼稚園		集約化		
東幼稚園（東小校舎内）	集約化 旧園舎解体			
秋山幼稚園	移転、建替え、耐震改修のいずれかを選択	集約化		
幼・保一元化施設	新設		中規模修繕	

(10) 環境衛生施設

① 対象施設一覧

環境衛生施設として、リサイクルセンター、斎場、花貴クリーンセンターの3施設保有しています。

図表 施設一覧

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
		●		高萩市リサイクルセンター	高萩市大字赤浜2100-15	1,448	2011	S	2F	
●				高萩市斎場	高萩市安良川1332-1	1,151	1986	RC	1F	
●				高萩市花貴クリーンセンター	高萩市大字安良川505	1,970	1993	RC	2F	

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 4棟のうち、1棟は築10年未満で劣化は見られないが、築30年以上が1棟、築20年以上が2棟あり、劣化が顕在化している。

■ 利用・運営状況

- ・ リサイクルセンター、クリーンセンターの稼働状況はほぼ横ばいで推移している。
- ・ 斎場の利用は、年度によりばらつきがある。
- ・ 市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 施設の稼働率等を考慮の上、施設の更新時に適正規模を検討し圧縮を図る。
- 広域ゴミ処理施設を建設予定のため、リサイクルセンターの機能が広域ゴミ処理施設へ移転するため、その後の利活用を検討する。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高萩市リサイクルセンター	利活用検討					
高萩市斎場						
高萩市花貫クリーンセンター（処理棟）						
高萩市花貫クリーンセンター（管理棟）						

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高萩市リサイクルセンター	利活用検討			
高萩市斎場	長寿命化		中規模修繕	
高萩市花貫クリーンセンター（処理棟）		中規模修繕		中規模修繕
高萩市花貫クリーンセンター（管理棟）		中規模修繕		中規模修繕

(11) 消防施設

① 対象施設一覧

消防施設として、消防本部1施設、消防詰所等を22施設保有しています。

図表 施設一覧

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				高萩市消防本部	東本町三丁目11番地	1,261	1984	RC	2F	
●				第1分団消防詰所	本町二丁目4番地の1	60	1982	S	2F	
●				第2分団消防詰所	有明町二丁目13番地の2	50	1978	S	2F	
●				第3分団詰所	安良川133番地の4	120	2013	RC	2F	
	●			第4分団消防詰所	島名1968番地の14	76	2003	W	1F	
	●			第5分団消防詰所	秋山217番地の3	71	1997	W	2F	
	●			第6分団消防詰所	秋山1669番地の1	64	1998	W	2F	
	●			第7分団消防詰所	秋山1520番地の1	50	2001	W	1F	
	●			第8分団消防詰所	石滝2895番地	50	1997	W	1F	
	●			第9分団消防詰所	高萩218番地の9	39	1982	S	2F	
		●		第10分団消防詰所	高戸818番地の2	50	1996	W	1F	
		●		第11分団消防詰所	赤浜45番地	49	1995	W	1F	
		●		第12分団消防詰所	下手綱628番地の1	60	1990	S	1F	
		●		第13分団消防詰所	上手綱44番地の1	64	1998	W	2F	
		●		第14分団消防詰所	上手綱2394番地の1	65	2004	W	1F	
		●		第15分団消防詰所	上手綱1587番地の4	61	1993	W	2F	
		●		第16分団消防詰所	若栗237番地の2	23	1989	CB	1F	
		●		第17分団消防詰所	上君田715番地の1	48	1994	W	1F	
		●		第18分団消防詰所	下君田1170番地	40	1988	W	1F	
		●		第19分団消防詰所	横川187番地の3	50	2002	W	1F	
		●		第20分団消防詰所	大能1135番地の1	43	1972	W	2F	
		●		第21分団消防詰所	中戸川1214番地	40	1994	CB	1F	
		●		防災行政無線中継局	大能1245番地の28	170	2004	S	1F	

② 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上は8棟（約35%）であるが、建物によっては良好な建物もあり、改修が行われている。
- ・ 市の直営となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 耐用年数まで消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 消防庁舎は、津波浸水想定エリアにあるため、建替えについては場所を含め検討する。

④ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
高萩市消防本部				● 設計	● 中規模	
第1分団消防詰所						
第2分団消防詰所						
第3分団詰所						
第4分団消防詰所						
第5分団消防詰所						
第6分団消防詰所						
第7分団消防詰所						
第8分団消防詰所						
第9分団消防詰所						
第10分団消防詰所						
第11分団消防詰所						
第12分団消防詰所						
第13分団消防詰所						
第14分団消防詰所						
第15分団消防詰所						
第16分団消防詰所						
第17分団消防詰所						
第18分団消防詰所						
第19分団消防詰所						
第20分団消防詰所						
第21分団消防詰所						
防災行政無線中継局						

⑤ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
高萩市消防本部	中規模修繕		中規模修繕	
第1分団消防詰所			中規模修繕	
第2分団消防詰所			中規模修繕	
第3分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第4分団消防詰所				
第5分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第6分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第7分団消防詰所			中規模修繕	
第8分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第9分団消防詰所			中規模修繕	
第10分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第11分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第12分団消防詰所			中規模修繕	
第13分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第14分団消防詰所			中規模修繕	
第15分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第16分団消防詰所			中規模修繕	
第17分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
第18分団消防詰所				中規模修繕
第19分団消防詰所			中規模修繕	
第20分団消防詰所			中規模修繕	
第21分団消防詰所		中規模修繕		中規模修繕
防災行政無線中継局			長寿命化	

(12) 閉校・廃止施設

① 現状と課題

- ・ 君田小中学校は松岡小中学校へ統合した。
- ・ 旧第2庁舎は築30年であるが、劣化が顕在化している。旧仮設庁舎D棟は築7年で建物の状態も良好である。

② 施設類型の基本方針

- 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設は解体する。
- 利活用を検討する。
- 旧君田小中学校については、定期貸付（10年）をしている。貸付期間中の修繕等は借受者が実施する。

③ 個別施設ごとの短期（2024（令和6）年度まで）の方向性

施設名	年次計画					備考
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
旧分庁舎	● 解体 工事 ●					
旧第2分庁舎						
旧仮設庁舎分室会議室	● 調整 調査 ●	● 解体 工事 ●				
旧仮設庁舎D棟						
倉庫（駒木原倉庫）	● 解体 工事 ●					
旧君田小学校						
旧君田中学校						
旧君田小中学校体育館						

※旧仮設庁舎D棟は、消防設備点検（2回/年）を実施

④ 個別施設ごとの長期（2059（令和41）年度まで）の方向性

施設名	年次計画			
	2020～2029	2030～2039	2040～2049	2050～2059
旧分庁舎	解体			
旧第2分庁舎		解体		
旧仮庁舎分室会議室	解体			
旧仮設庁舎D棟			解体	
倉庫（駒木原倉庫）	解体			
旧君田小学校	賃貸借契約期間中のため、双方協議による。	契約継続の有無により、今後の施設のあり方を検討		
旧君田中学校	賃貸借契約期間中のため、双方協議による。	契約継続の有無により、今後の施設のあり方を検討		
旧君田小中学校体育館	賃貸借契約期間中のため、双方協議による。	契約継続の有無により、今後の施設のあり方を検討		

■ インフラ施設

(1) 道路（「高萩市舗装修繕計画 平成 29 年 5 月」より抜粋）

① 対象施設

管理延長は 1 級市道で 53.665km、2 級市道が 51.763km その他市道で 388.892km となっており、全体で 494.320 km です。

図表 施設一覧

管理延長と舗装延長（平成 29 年 4 月 1 日現在）				
道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As舗装	Co舗装	
1級市道	53.665km	43.999km	0.350km	82.64%
2級市道	51.763km	31.510km	0.577km	61.99%
その他市道	388.892km	200.010km	7.721km	53.42%
計	494.320km	275.519km	8.648km	57.49%

② 現状と課題

・舗装が済んでいる割合は全体で 57.49%となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 舗装維持修繕計画の策定にあたっては、路面性状調査による診断結果と路線・区間の重要度により、効率的な修繕とコストの平準化を目指す。
- 次期の個別施設計画改定においては、「公共施設等管理計画 改訂版」の方針に基づき、個別施設計画の内容を更新する。

④ 計画事業実施期間と概算事業費

計画事業実施期間と概算事業費

No.	路線名	措置内容	事業実施期間(年度)										全体 事業費 百万円	H29 事業費 百万円	H30 事業費 百万円	H31 事業費 百万円	H32 事業費 百万円	H33 事業費 百万円	H34 事業費 百万円	H35 事業費 百万円	H36 事業費 百万円	H37 事業費 百万円	H38 事業費 百万円
			H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38											
1	市道 205 号線	表層打替え	■									22.4	13.4	9									
2	市道 1403 号線	表層打替え		■	■							24.9		14.5	10.4								
3	市道 1358 号線	表層打替え		■								0.8		0.8									
4	市道 1380 号線	表層打替え		■								6.5		6.5									
5	市道 1381 号線	表層打替え		■								8.9		8.9									
6	市道 1263 号線	表層打替え			■	■						16			10.4	5.6							
7	市道 2032 号線	表層打替え			■							3.2			3.2								
8	市道 1592 号線	表層打替え				■	■					48				32	16						
9	市道 1206 号線	表層打替え			■							4.2			4.2								
10	市道 1661 号線	表層打替え					■	■	■			79.3				33.3	20	26					
11	市道 206 号線	表層打替え						■	■	■		58.8				28	24	6.8					
12	市道 1261 号線	オーバーレイ							■	■		26.7						26.7					
13	市道 1261 号線	オーバーレイ								■		3.3							3.3				
14	市道 1373 号線	表層打替え								■		2.3							2.3				
15	市道 1373 号線	表層打替え								■		4.5							4.5				
16	市道 1456 号線	表層打替え								■	■	15.2							5	10.2			
17	市道 1355 号線	表層打替え									■	3.2									3.2		
18	市道 1355 号線	オーバーレイ									■	1.6									1.6		
19	市道 104 号線	表層打替え									■	22.7									22.7		
20	市道 1409 号線	表層打替え									■	20.6									10	9.6	
21	市道 221 号線	表層打替え									■	33.8										33.8	
合 計													13.4	39.7	28.2	37.6	49.3	48	50	48.6	47.7	43.4	

(2) 橋りょう（「高萩市橋梁長寿命化修繕計画 平成 26 年 2 月」より抜粋）

① 対象施設

市が管理する道路橋は、平成 25 年 4 月現在、231 橋です。このうち今回橋梁長寿命化修繕計画策定対象橋りょう 48 橋において 1963 年以前に架設され、共用年数が 50 年以上である橋りょうは 5 橋（10%）です。

② 現状と課題

- ・ 今後 10 年後には、共用年数が 50 年以上となる橋りょうは 12 橋（25%）である。20 年後には 19 橋（40%）の橋りょうが共用年数 50 年以上となり、30 年後には 40 橋（83%）の橋りょうが共用年数が 50 年以上となる。
- ・ このような背景から、今後、増大が見込まれる橋りょうの修繕・架替に要する費用に対し、可能な限りコスト縮減への取り組みが不可欠である。

③ 施設類型の基本方針

<健全度の基本的な方針>

- 高萩市では、「橋梁点検マニュアル」に基づき 5 年に 1 回の実施を基本とした定期点検により橋りょうの損傷状況（健全度）を把握し、今後の策定計画に反映させます。また、必要に応じて詳細調査を実施する。

(3) 公園（「高萩市公園施設長寿命化計画 平成 29 年」より抜粋）

① 対象施設

本計画では、高萩市内の都市公園（17 公園）のうち、予防保全型管理を導入する公園として遊具を設置している 13 公園を選定しました。

図表 施設一覧

No.	公園名	種別	共用開始年	経過年数(年)	面積(m ²)
1	中央児童公園	街区	S32.4.1	59	2,377
2	春日児童公園	街区	S33.4.1	58	2,004
3	山王児童公園	街区	S38.3.1	53	2,271
4	松岡児童公園	街区	S34.10.1	57	2,641
5	花貫児童公園	街区	S46.5.27	45	2,183
6	肥前児童公園	街区	S48.4.1	43	1,126
7	駒木原児童公園	街区	S49.4.1	42	1,147
8	駒形児童公園	街区	S53.5.17	38	1,253
9	千代町児童公園	街区	S53.12.25	38	1,428
10	行人塚児童公園	街区	S55.12.13	36	1,449
11	向洋台児童公園	街区	S57.4.21	34	2,685
12	石滝児童公園	街区	S53.11.10	38	522
13	本町ファミリースポーツ公園	街区	S12.11.11	16	8,652

② 現状と課題

・本市においても遊具等の公園施設の老朽化対策と安全管理が課題となっている。本調査の対象公園 13 公園は、開園 30 年以上を経過した公園が 12 公園となっており、その内訳は 50 年以上を経過した公園が 4 公園、40 年以上が 3 公園、30 年以上が 5 公園となっている。本市においては、今後計画的な遊具等の修繕、撤去・更新が重要課題となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 計画対象公園については、遊具等の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、ライフサイクルコストの削減を実現する。
- また、日常点検・定期点検を実施し、重大な事故につながる恐れのあるハザードを発見した場合には、適切な措置を講ずる。
- 次期の個別施設計画改定においては、「公共施設等管理計画 改訂版」の方針に基づき、個別施設計画の内容を更新する。

④ 公園施設長寿命化計画調書（総括表）

公園名	種別	共用年度	長寿命化を実施する公園設備	主な公園施設			長寿命化対策公園施設数	年次計画（費用）										概算費用合計（千円）
				設置年度	経過年数	処分制限期間など		H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	
中央児童公園	街区	S32	ぶらんこ、シーソー、すべり台、鉄棒、ラダー、ジャングルジム、砂場	S32	59	期間を過ぎている	7		3,975		799			45			71	
春日児童公園	街区	S33	ぶらんこ、スプリング遊具、シーソー、すべり台、鉄棒	S33	58	期間を過ぎている	6			4,050						49	111	22
山王児童公園	街区	S37	ぶらんこ、スプリング遊具、シーソー、すべり台、鉄棒、ラダー、ジャングルジム、砂場	S37	54	期間を過ぎている	8		3,975		1,901			45			71	111
松岡児童公園	街区	S34	ぶらんこ、スプリング遊具、すべり台、はん登棒、複合遊具	H4	24	期間を過ぎている	5		49	10,821				29	49		111	
花貫児童公園	街区	S46	ぶらんこ、シーソー、すべり台、鉄棒、砂場、複合遊具	S46	45	期間を過ぎている	6		1,079	10,157	154			45		49		22
肥前児童公園	街区	S48	ぶらんこ、すべり台、鉄棒、ジャングルジム、砂場	S48	43	期間を過ぎている	5		3,398					45	49			
駒木原児童公園	街区	S49	ぶらんこ、スプリング遊具(2)、すべり台、鉄棒、登はん運動系遊具、砂場	S49	42	期間を過ぎている	7		3,936				994	45	49			
駒形児童公園	街区	S53	スプリング遊具、鉄棒、登はん運動系遊具、砂場	S53	38	期間を過ぎている	4			2,058			497	45				
千代町児童公園	街区	S53	ぶらんこ、シーソー、すべり台、鉄棒、ジャングルジム、登はん運動系遊具(2)、砂場	S53	38	期間を過ぎている	8		7,846					45	49		22	
行人塚児童公園	街区	S55	ぶらんこ、スプリング遊具、すべり台、鉄棒、砂場	S55 H26	36 2	すべり台以外は期間を過ぎている	5			1,334				844		33	111	
向洋台児童公園	街区	S57	ぶらんこ、すべり台、鉄棒、砂場	S57	34	期間を過ぎている	4			1,079				1,076				
石滝児童公園	街区	S53	ぶらんこ、すべり台、鉄棒、砂場	S53	38	期間を過ぎている	4			1,141			1,031	45				49
本町ファミリースポーツ公園	街区	H12	複合遊具、すべり台、砂場、健康器具系施設(7)	H12 H28	16 0	すべり台以外は期間を過ぎている	10		8,640		2,250			45				33
							79	0	32,898	30,640	5,104	2,522	2,354	196	131	497	237	74,579

(4) 上水道（「高萩市水道ビジョン 平成 28 年度」より抜粋）

① 対象施設

本市水道事業は、昭和 41 年度に創設認可を受け、昭和 48 年 4 月から通水を開始しました。その後、水需要の増加に伴い、昭和 58 年度に第一次拡張事業経営変更認可（給水人口 37,200 人、給水量 19,100 m³/日）を受け、現在に至っています。

給水人口は平成 12 年度（33,248 人）をピークに年々減少し、一日最大給水量は、平成 13 年度（13,677 m³/日）をピークに減少傾向にあります。

本市の水道施設は、花貫川から取水した原水を第一浄水場、北茨城市の大北川から取水した原水を関口浄水場で浄水処理後、配水池へ送水し、配水池から各家庭に自然流水方式（一部ポンプ圧送方式）で配水しています。

② 現状と課題

- ・水道は地震等の災害時においてもライフラインとしての機能を果たすことが求められており、主要施設の耐震化が急務となっている。
- ・水道事業の経営環境については、人口減少・節水機器の普及・節水意識の定着などにより給水量が減少し、水道料金収入の維持が困難な状況になりつつある。
- ・そのため、中長期的な施設整備を行うための必要資金を確保していくことが課題となっている。

③ 施設類型の基本方針

- 水質管理の強化
- 基幹施設・管路の更新と耐震化及び災害対策の強化
- 将来の水需要減少を勘案すると、現在の2系統による給水を1系統に集約することも視野に入れた効率的かつ計画的な更新を行います。
- 市民とのコミュニケーションの充実
- 健全な事業経営への取組み
- 環境問題への取組
- 次期の個別施設計画改定においては、「公共施設等管理計画 改訂版」の方針に基づき、個別施設計画の内容を更新する。

④ 事業化計画

第一浄水場主体案の財政見通し（H28～H83）（期間平均：百万円）

項目	H28 ～H31	H32 ～H37	H38 ～H41	H42 ～H46	H47 ～H51	H52 ～H56	H57 ～H61	H62 ～H66	H67 ～H71	H72 ～H76	H77 ～H83
収益的収入	691	688	668	656	616	587	572	559	544	530	512
収益的支出	537	547	555	647	695	690	685	684	697	668	625
収益的収支(損益)	153	141	114	9	-78	-103	-114	-125	-153	-138	-113
資本的収入	151	119	127	579	135	121	71	197	95	105	71
資本的支出	432	334	355	949	351	398	378	553	394	360	247
資本的収支	-282	-215	-228	-370	-216	-277	-306	-355	-299	-254	-176
年度末内部留保資金	542	1,222	1,883	2,071	2,299	2,177	1,843	1,336	757	424	434
供給単価(円/m ³)	199.8	210.0	216.8	227.0	227.0	227.0	227.0	227.0	227.0	227.0	227.0
給水原価(円/m ³)	173.4	186.4	200.0	248.0	282.8	294.6	300.8	307.6	323.4	319.4	310.4

関口浄水場主体案の財政見通し（H28～H83）（期間平均：百万円）

項目	H28 ～H31	H32 ～H37	H38 ～H41	H42 ～H46	H47 ～H51	H52 ～H56	H57 ～H61	H62 ～H66	H67 ～H71	H72 ～H76	H77 ～H83
収益的収入	697	703	690	687	646	615	651	670	652	634	613
収益的支出	537	547	555	656	731	721	712	794	831	795	744
収益的収支(損益)	159	155	135	31	-85	-106	-62	-124	-179	-160	-131
資本的収入	151	119	139	579	135	101	183	461	95	105	71
資本的支出	427	331	383	955	348	366	535	933	438	429	316
資本的収支	-276	-211	-244	-375	-213	-264	-352	-472	-343	-323	-245
年度末内部留保資金	567	1,343	2,058	2,371	2,573	2,488	2,231	1,585	1,072	666	590
供給単価(円/m ³)	201.8	215.0	224.6	239.0	239.0	239.0	261.8	277.0	277.0	277.0	277.0
給水原価(円/m ³)	173.4	186.4	200.2	251.6	297.8	307.6	312.8	357.6	385.4	379.8	369.0

第一浄水場・関口浄水場併用案の財政見通し（H28～H83）（期間平均：百万円）

項目	H28 ～H31	H32 ～H37	H38 ～H41	H42 ～H46	H47 ～H51	H52 ～H56	H57 ～H61	H62 ～H66	H67 ～H71	H72 ～H76	H77 ～H83
収益的収入	692	691	675	669	629	598	624	637	620	603	582
収益的支出	537	547	553	615	675	667	662	746	811	777	739
収益的収支(損益)	154	144	123	54	-46	-69	-38	-109	-191	-174	-157
資本的収入	151	119	101	521	135	101	171	545	95	105	71
資本的支出	432	333	311	870	332	349	502	1,052	414	440	329
資本的収支	-282	-213	-209	-349	-197	-247	-330	-507	-319	-335	-258
年度末内部留保資金	543	1,243	2,010	2,415	2,722	2,805	2,687	2,044	1,451	977	725
供給単価(円/m ³)	200.2	211.0	219.4	232.0	232.0	232.0	250.0	262.0	262.0	262.0	262.0
給水原価(円/m ³)	173.4	186.4	199.2	235.6	274.8	284.8	290.6	335.8	376.2	371.4	366.7

(5) 工業用水道（「高萩市工業用水道事業基本計画 平成 28 年度」より抜粋）

① 対象施設

本市工業用水道事業は、昭和 45 年度に創設許可を認可し、昭和 49 年 6 月から通水を開始し、現在に至っています。

平成 23 年度の実給水量は東日本大震災の影響で他の年度に比べ低い値となっています。工業用水道の水道施設は、花貫川から取水した源水を第二浄水場で処理後、配水池へ送水し、配水池から各事業所に自然流水下方式により配水しています。

② 現状と課題

- ・工業用水道の管路の延長は合計で 8,930m に達している。その中で耐用年数 40 年を超えた管路が 6,104m あり、これが全体の 68% にあたる。
- ・まだ、管路の耐震適合率は、44%（延長 3,863m）となっている。これは、大規模地震でも耐え得る管路の割合である。

③ 施設類型の基本方針

- 劣化が進行している管路更新（漏水履歴のある管路）は令和 7 年度までに完成を目指す。
- 管路の耐震化（耐震不適合地盤に布設されている管路）は令和 13 年度までに完成を目指す。
- 耐用年数に達した管路更新は令和 31 年度までに完成を目指す。
- 第二浄水場のコンクリート施設は法定耐用年数 60 年にて完成を目指す。
- 次期の個別施設計画改定においては、「公共施設等管理計画 改訂版」の方針に基づき、個別施設計画の内容を更新する。

④ 事業化計画

工業用水道施設の財政見通し（H28～H83）（期間平均：百万円）

項目	H28 ～H31	H32 ～H37	H38 ～H41	H42 ～H46	H47 ～H51	H52 ～H56	H57 ～H61	H62 ～H66	H67 ～H71	H72 ～H76	H77 ～H83
収益的収入	194	194	305	211	210	209	209	209	209	209	209
収益的支出	151	148	220	204	260	261	261	259	251	245	243
収益的収支(損益)	44	46	86	7	-51	-52	-52	-50	-42	-36	-34
資本的収入	4	0	20	468	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	114	95	128	725	93	107	113	62	69	22	0
資本的収支	-110	-95	-108	-257	-93	-107	-113	-62	-69	-22	0
年度末内部留保資金	380	339	762	180	141	92	52	154	364	693	1,387
供給単価(円/m ³)	26.4	26.4	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
給水原価(円/m ³)	21.8	21.4	19.3	29.6	37.8	38.0	38.0	37.6	36.4	35.4	35.0

(6) 下水道（「日立・高萩広域下水道事業の経営計画」より抜粋）

① 対象施設

下水道管路（以下「管路」という。）の整備は、昭和 58 年の第 1 期整備事業から平成 28 年度の第 7 期整備事業で概成する予定で、事業計画面積 2,544.5 ヘクタールに対する整備率は、平成 28 年度末に 100%になる見込みです。

② 現状と課題

- ・管路延長は約 480km（直線距離で日立市から京都府まで）で、標準耐用年数 50 年を迎える管路は、早期普及のため集中的に整備を進めた影響で、18 年後に 10 km、23 年後に 113 kmと急速に増加していく。このため、管路の使用可能期間を延ばしてコスト削減を図る手段として、適切な調査・補修が重要になっている。

③ 施設類型の基本方針

- 本組合の処理場は、茨城県の津波浸水想定区域に位置するため、大津波に襲われても汚水処理機能を維持し、市民生活を守るための津波対策を進めていく。
- 人口減少に伴い、更新規模を適正化したうえで、長寿命化計画等に基づき最も経済的な方法を採用し、コスト削減を図りながら将来を見据えた取組みを強化することで、下水道の運営基礎の改善と強化を目指す。
- 次期の個別施設計画改定においては、「公共施設等管理計画 改訂版」の方針に基づき、個別施設計画の内容を更新する。

④ 老朽化施設の点検・修繕・更新計画

(単位:千円)

事業名 / 年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	事業費
中央監視設備改築	←→										391,900
主ポンプ設備改築	←→										155,660
ブロワ設備改築		←→				←→					485,968
水処理設備改築		←→				←→					1,504,830
遠心濃縮設備改築			←→								300,700
脱水設備改築				←→							567,652
管理棟付帯設備改築			←→								62,964
沈砂池設備改築				←→							120,454
汚泥脱臭設備改築					←→						90,000
水処理ポンプ設備改築					←→						24,000
沈殿池掻寄機改築						←→			←→		345,400
重力濃縮設備改築						←→					150,000
消毒設備改築							←→				40,000
受変電設備改築					←→				←→		350,000
反応タンク長寿命化						←→					24,000
電気設備長寿命化						←→					750,000
各ポンプ場設備改築	←→										459,981
小計											5,823,509
テレビカメラ調査	←→										319,737
合計											6,143,246

第4章

計画の継続的運用方針

2. 推進体制等の整備

本計画は、「公共施設等管理計画」を受けて各施設の個別事業を明らかにするものであり、施設運営や施設で行われている事業（行政サービス）のあり方、周辺の公共施設の状況・計画などとも密接な関係をもった計画です。そのため、担当所管課から出てくる事業を全庁で整合性をチェックし、無駄のない整備に向けて確実な進捗管理を行う必要があります。管理計画で設定した組織体制である策定委員会や庁議、幹事会などで、本計画についても内容の確認や予算反映等の調整を行うこととします。

3. フォローアップ

本計画を着実に実行していくため、PDCA サイクルにより進捗管理を行いながら、将来人口や児童生徒数の変化、地域の開発動向など公共施設を取り巻く状況を常に把握し、将来変化に柔軟に対応していきます。

各部会や担当課で検討する計画の策定状況、着手時期等に合わせて適宜計画を見直し、継続的な改善に取り組むことで、長寿命化にとどまらない将来変化への対応策によって、財政負担のさらなる縮減・平準化を図りながら、市民サービスの維持・向上をめざしていきます。

